

神戸市学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則（案）
についての意見公募手続の結果

○募集期間：令和8年2月17日（火曜）～令和8年3月18日（水曜）

○ご意見数：45通（57件）

ご意見は、同様の趣旨のものをまとめて掲載しています。

また、趣旨を踏まえて要約していますのでご了承ください。

○意見公募実施時の規則案と制定する規則との変更点：

中学校・義務教育学校（後期課程）の給食提供単価に関して、直近の食材価格等を踏まえ、「主食・副食 357円」を「主食・副食 356円」とします。

1. 規則（案）に対する意見（38件）

No	寄せられたご意見	神戸市の考え方
1	小学校給食の無償化や、中学校給食費の公費負担の継続に感謝しています。今後も実施・継続をお願いします。	神戸市では、令和8年度の小学校給食費を無償とし、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることとしています。また、中学校給食費についても、保護者負担を抑えつつ、給食の質や量を保てるよう、引き続き公費による支援を行います。
2	無償化により、給食の質や量が下がることを懸念しています。必要であれば単価や保護者負担を見直してでも、子どもが十分に食べられる給食を維持してほしいです。	国基準額（月額5,200円）と本市月額（約6,200円）の差額も含めて全額公費負担することで、完全無償化を実施します。無償化により、給食の質や量が下がることはありません。
3	無償化によって、安全性や食材の質、食育の視点が損なわれないか心配です。安心・安全で、教育的意義のある給食を維持・向上してほしいです。	神戸市では、安全性を最優先に、アレルギー対応や衛生管理を徹底するとともに、市内産食材の活用や食育の推進にも取り組んでいます。今後も、安心して学びにつながる給食を提供できるよう努めます。

4	無償化には反対です。給食費は保護者が負担してもよいので、税金は他の施策や学校予算に充てるべきだと考えます。	国の動向も踏まえ、子育て支援を進める観点から小学校給食費の無償化と中学校給食費への公費負担を行い、家庭の負担軽減を図ります。
5	義務教育以外（特別支援学校高等部）への公費負担を広げる必要性に疑問があります。	神戸市では令和4年度以降、特別支援学校高等部を含む学校給食について、食材価格の高騰分を公費で負担し、保護者負担額を据え置いて給食の量と質を維持してきました。物価高騰が続く状況を踏まえ、令和8年度も同様の取り組みを継続します。
6	小学生と中学生の1食357円が同額で、量も同じなのか疑問です。	小学校は牛乳を含む額、中学校は主食・副食の額であり、給食費・給食量とも同じではありません。
7	中学校も無償化してほしいです。小学校に続き、義務教育である中学校についても給食費の無償化を望みます。	中学校給食費については、令和8年度も、半額助成に加え食材価格高騰分の公費負担を継続し、保護者負担170円を維持します。無償化に関しては、国で課題整理のうえ検討されるため、その動向を注視します。

2. その他学校給食に関する意見（19件）

No	寄せられたご意見	神戸市の考え方
8	食物アレルギーや不登校などで学校給食を受けられない児童・生徒の保護者にも、給食費相当額の給付・助成を行ってほしいです。	令和8年度は、小学校給食費の無償化に合わせて、食物アレルギーや長期欠席などで給食を喫食できない児童への給付を実施する予定です。詳細は決まり次第お知らせします。
9	給食センターや事業者の運営体制を見直し、安さだけを優先せず、調理現場が無理なく安定して働ける環境を整えることで、給食の質を確保してほしいです。	委託事業者の人員体制や財務状況等を確認し、栄養教諭等が定期的に打合せ、巡回指導などを行っています。 今後も事業者と連携しながら、安全・安心な給食の安定的な提供に努めていきます。

10	給食を落ち着いて食べられるよう、各校の時間割を見直し、十分な給食時間を確保してほしいです。	給食時間は学校園によって異なりますが、学校の状況を確認しながら、十分な給食時間を確保できるよう働きかけていきます。
11	献立や食材、味や提供方法を見直し、子どもが食べやすく、おいしく感じられる給食にしてほしいです。	残食調査等をもとに献立の改善に取り組んでいます。今後も、工夫を重ね、より親しみやすい給食を目指していきます。
12	子どもや保護者の意見を把握するため、定期的なアンケートなどで継続的に意見を収集してほしいです。	中学校では、生徒へのアンケート、小学校では毎月の給食状況調査を行い、新メニューの反応や喫食状況を把握しています。今後も、子どもたちの意見を踏まえて改善に取り組んでいきます。
13	宗教上の理由で給食を利用できない子どもも安心して一緒に食べられるよう、ハラル対応を検討してほしいです。	大量調理を安全に行うために、個別の調理は行っていません。アレルギーや宗教上の理由等により一部又は全ての食材を食べることができない場合については、基本的には家庭からお弁当を持参していただいています。
14	給食費の通知や徴収方法を見直し、紙送付の削減や徴収回数・徴収方法の工夫により、手数料や事務負担、確認の手間を減らしてほしいです。	手続きは電子申請を基本とし、徴収は口座振替を原則としています。未登録の方には納付書の発送時に口座登録をご案内しており、今後も紙の削減や負担軽減に努めます。なお、令和8年度の小学校給食費無償化に伴う手続きは不要です。
15	食材の安全性や質、食育の観点を大切に、国産・無農薬・有機・地産地消の活用や、日本食・多様な食の機会の充実など、より質の高い給食にしてほしいです。	神戸市では、市内産米や市内産野菜の活用を進めるとともに、有機農産物の試験的な使用にも取り組んでいます。量の確保などの課題もあることから、できることから給食の質の向上に努めていきます。

16	給食費の単価設定について、小学1年生と小学6年生が同じ金額でよいのか疑問です。	6年間給食を喫食することを前提に、主食・副食・牛乳を含む1食あたりの保護者負担額として設定しています。献立は、文部科学省の基準に沿って、1か月平均で必要な栄養がとれるよう作成しており、学校では子どもの食べる量に応じて調節も行っています。なお、令和8年度は小学校給食費を無償化します。
----	---	---